

東南海・南海地震予測のための地下水等観測施設

井内浦観測井

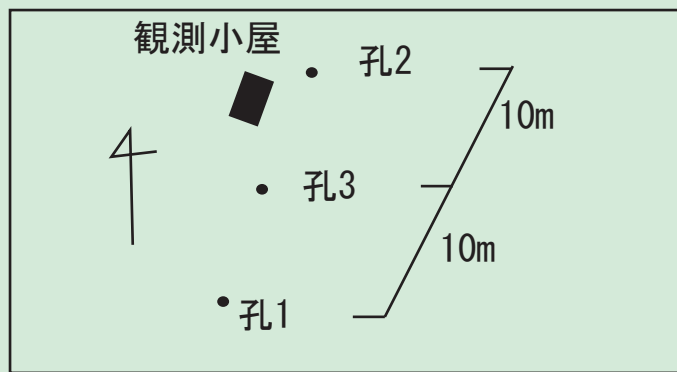
【本施設の目的】

東南海・南海地震は今から約 1,300 年前までの間に 9 回の地震記録があり、最近 4 回の発生間隔は約 90 ～ 150 年です。政府の地震調査委員会による今後 30 年間の地震の発生確率は、2008 年 1 月 1 日の時点で、東南海地震で 60 ～ 70% 程度、南海地震で 50% 程度です。一方、古文書等には、過去の南海地震や東南海地震前後に、紀伊半島や四国で地下水や温泉水が変化したという記述があり、近い将来に発生が予測されている東南海・南海地震の発生前に、紀伊半島や四国で地下水変化や地殻変動が生じる可能性があります。

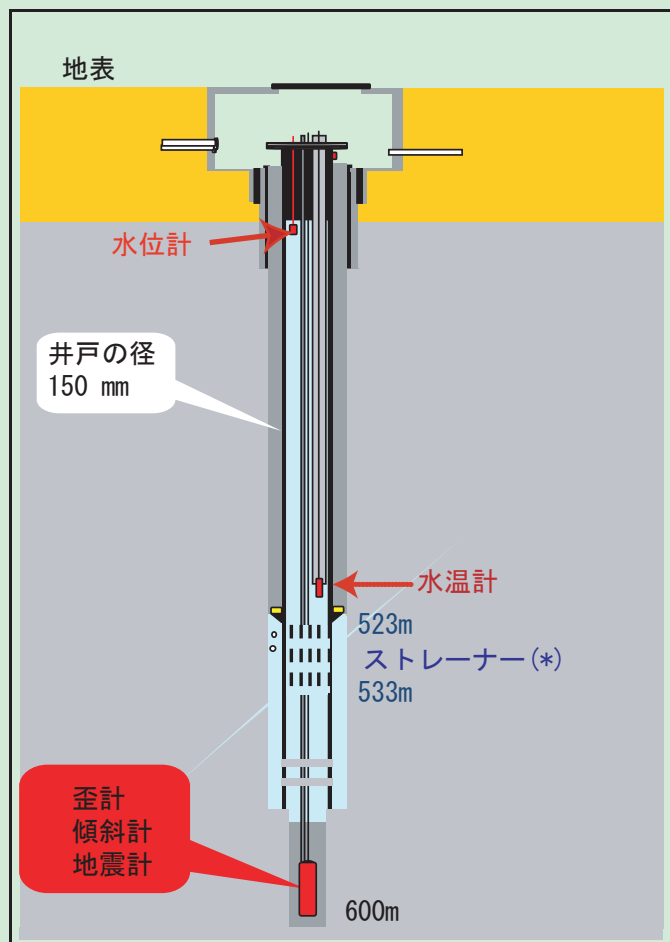
本施設には、600m、130m、30m の 3 深度の観測井（孔 1 ～ 3）があります。これらの観測井には、地下水に加えて地殻変動・地震の連続観測を行うために、水位計・水温計をはじめ、（地面の伸縮を測定する）歪計や傾斜計・GPS および地震計を設置しました。観測データは、地上観測小屋から電話回線により茨城県つくば市にある産業技術総合研究所に転送されます。これらのデータは、四国・紀伊半島・東海地方に設置された他地点での観測データと合わせてモニタリングし、南海・東南海・東海地域の地震予知研究に役立てます。ただし、この施設は観測研究用であり、防災警報用ではありません。



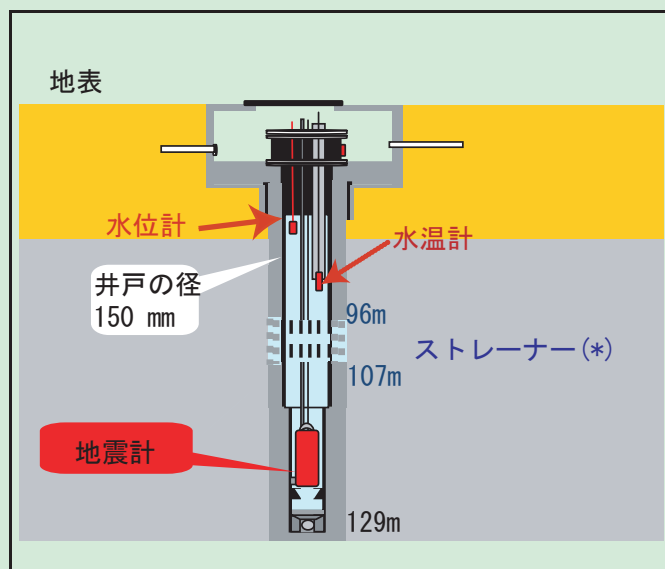
観測井戸の配置と構造



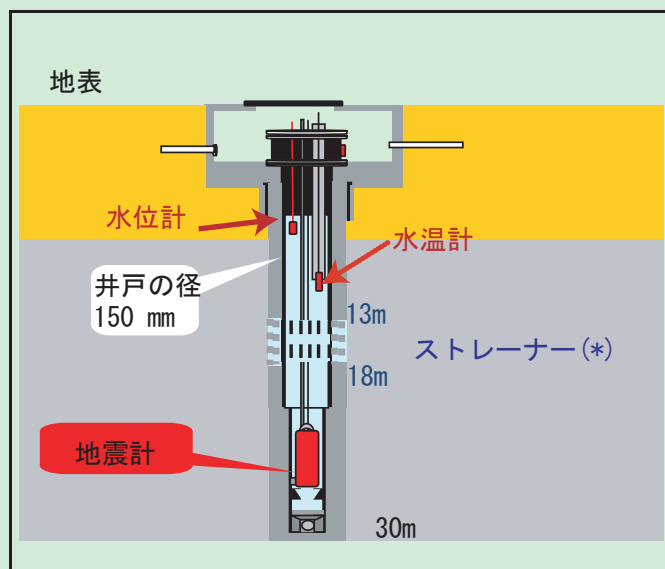
孔 1



孔 2



孔 3



(*: ストレーナー：水の出入り口)

御礼：平成18年7月から平成19年5月までの工事においては、周辺住民の皆様および熊野市役所・三重県庁の方々にご協力頂き無事に観測施設を完成することができました。ここに御礼申し上げますとともに、今後の観測におきましても更なる御協力をいただけますようお願い申し上げます。

観測施設所在地：三重県熊野市磯崎町 井内浦農村公園内

問い合わせ先

産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地震地下水研究グループ

電話：029-861-3656 ファックス：029-855-1298 メール：tectono-h1@m.aist.go.jp

データ公開ホームページ

地震に関連する地下水観測データベース “Well Web” <http://www.gsj.jp/wellweb/>